

菊池学園 だより

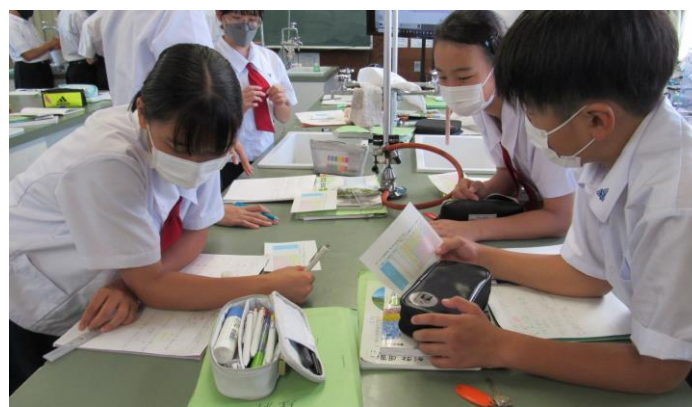
第43号
令和4年度第6号
2022年
9月26日



学校訪問・取材特集号

9月から個別訪問をし、素敵などころ、輝いているところ、頑張っているところを取材をしています。今回は、9月7日に訪問した伊野中学校について紹介します。

◎ 少人数での対話のある授業づくり



1年1組 担任 藤本 駿先生の理科授業を参観しました。中学校の授業でも、ペアでの話し合いや自由な立ち歩きのある授業が行われていました。指示の後、素早く話し合うことができていました。学びを深めるために、対話のある授業が定着しています。



学び合いは、寄り添う合うこと

話しかけている先生の目線や男女関係なく、最適な距離感で、学び合いが行われている素敵なお場面でした。関係性ができている学級では、みんなで一緒に学んでいこうという雰囲気でお授業が行われています。

町内にこのようなお場面が増えてきているので、これからも紹介していきます。

◎ 藤本先生に聞いてみました

Q. 伊野中では「発信力をつける」ために、自分の意見に自信を持たせるための研究に取り組んでいますが、具体的にはどのようなことされていますか。

A. まず、人と違った意見でも言える、受け入れる温かい関係性を作っています。
「人の意見に文句を言わない!」「理由がないのは雑音です!」と指導してきました。
それを続けていくことで、自然と手を挙げて発表をする生徒が増えてきました。
また、全体発表の前に班の中で発表し、確認させ自分の意見に自信を持たせています。



◎ 掃除の様子から



廊下や教室を、隅々まで丁寧に時間いっぱい、雑巾がけをしていました。



掃除後の反省会で、一人一人が何を意識して、どのように掃除を頑張ったのかを発言し、先生も生徒の頑張りを価値づけています。どんどんレベルアップしそうです。



トイレの入り口には、
価値語モデルの啓発ポスター
が掲示されていました。



伊野中学校は、いつ訪問しても生徒さんが気持ちの良いあいさつをしてくれる学校です。

藤本先生は生徒さんに対して、「いいね!」等肯定的な言葉がけを沢山しています。また、授業中は発表や活動に価値づけをしたり、逆に関係のない発言は取り上げない等、多くの先生に参考にしてもらいたいと思うものでした。

(菊池学園担当)